ふかまちのまど
第五四号
九八（平成十）年一〇月一日発行

教育現場で思うこと（十三）

成末　肇士

中央教育審議会（中教審）は「21世紀を展望した我が国の教育の在り方について」と題して平成八年七月第一次答申を出しました。この第一次答申については前回紹介しましたので、今回はひき続いて平成九年六月に出された第二次答申について簡単に紹介します。

(1)これからの教育は、「ゆとりの中で「生きる力」を育むことを目指し、個性尊重という基本的な考え方に立ち、一人ひとりの能力・適性に応じた教育を展開していく必要がある。①このための教育制度について、複線化構造を進め、画一的なシステムを柔軟なものにする。②入学者選抜について、ペーパーテストによる学力試験偏重を改め、選抜方法や尺度の多様化を進める。③子どもたちの選抜の機会を拡大するとともに、学校や地方公共団体の裁量の範囲を拡大する。

(2)大学入試・高校入試を改善する。

①大学入試は学力試験の偏重を改め、選抜方法・尺度の多様化を進める。②「生きる力」の育成を目指す初等中等教育を尊重した入試方法に改善する。③高校入試では、中学校・高等学校間のハードルをより低くする。

学歴や学校歴を偏重する社会の問題を是正するために、学校だけでなく、企業や親などが、それぞれの立場で取り組みを進める必要がある。

企業や官公庁は採用や昇進において、学校名にこだわらない採用や昇進において、学校名にこだわらない採用や、能力主義に基ずく昇進などを進めていくことが必要。

親は、企業の動きなど、現実の社会の動きを見据え、子どもたちの個性を見つめ、その自主性を尊重しながら、子どもたちの「自分探しの旅」を扶（たす）けていくことが重要。そして、例えば、夜遅くまで塾に通わせることが、子どもにとって本当に望ましいことなのかを深く考えてほしい。親を含む国民全体が、「横並び意識」、「同質志向」、「過度に年齢にとらわれた価値感」などの「意識」を変えることが必要。

(3)中高一貫教育を導入。学校制度の複線化構造を進める観点から、中高一貫教育を選択的に導入する。子どもたちや保護者は、子どもの個性に応じて学校を選ぶ、選択の幅がひろがる。

地方公共団体などの学校施設者は、自らの創意工夫によって特色ある教育を展開する裁量範囲が拡大する。中高一貫教育の導入により、受験競争を激化させてはならない。そのため、入試は学力試験を行わず、抽選・面接・推薦等の多様な方法を適切に組み合わせる必要がある。

（以下次号へ続く）▲▲

インドネシア（ジャワ　バリ島）旅行記（四）

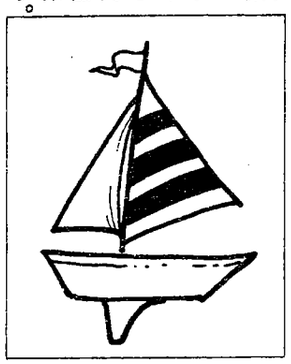
＝ジョクジャカルタ観光＝　高崎　壽郎

ジャカルタより空路で六五分のジョクジャカルタは、平和な町、王宮文化をいまに伝える町といわれる。人口は約三二〇万の大都会。

現在も王家（インドネシアには、約四〇の王国がある）はあるが象徴的な存在であり、同じように古都ということで京都と姉妹縁組をしている。

ジャカルタと大きく違うのは建築物の高さ。全体に低く高層の物はない。王宮より高くしないという。このことは、この街の人々が王家と極めて厚い信頼関係にあるからと思う。

全体が、緑も多く落ち着いたがくもんをするに適した街という感じがする。



市内には大学が数多くあり、インドネシアだけでなく世界各国から学生もいるとか。日本からの留学生もいわれる。だから学問の町ともいわれる。

学校は我が国と同様六三三制で、小中高は朝が早く七時から授業とのこと。小学校は四年生までは十一時半まで、五六年生は十二時二〇分、中高は十三時半までで勉強は終わる。

観光バスで郊外にある世界文化遺産の「ボロブドール」を見学した。それは、八世紀の終わりから九世紀の半ばに建てられた世界最大の仏教遺跡。火山の噴火により灰に埋っていたのを掘り起こし復元したもので、最近ではユネスコの協力で修復が行なわれたことで有名である。

青い空、澄んだ空気の中で見たボロブドールの建造物の壮大さに圧倒され、ひどく感動した。

閉口したのは、観光地で特産物を売る物売りである。バスを降りる時や、見学を終えてバスに帰る時などにドッと群がってくる。オレ・オレ（インドネシア語で「こっち」）も、　時がたつにつれ又、値切り具合で安くなる。例えば、初め「五枚千円」と言っていたTシャツが、終わりには「十枚千円」になる。それが、入れ替わり立ち替りしつこく言い寄ってくるのでたまらない。一般労働者の月収が一万円前後いうから、売り子の気持ちもわかるが。

現地のお銭（ルピア）に両替しなくても、日本円が通用する。日本語もよく使われている。今でも、「安いよ、安いよ。――千円」の売り声が耳に残っている。

＝次号は　バリ島の農業＝　▲▲

秋祭りのお知らせ

千川神社役員会

本年も、五穀豊穣・家内安全を祝って、左記の通り秋祭りを開催致しますので、近所おさそいあわせのうえ、ご参詣下さいますようご案内致します。

記

一、十月一七日（土）
　　午後六時～
二、場所　千川神社
三、内容　祭典と演芸大会

春夏秋冬

梶谷マサヨ

・我が家の庭に降り来し二羽のはと
　仲睦まじく　餌をついばむ

・「ひいばあちゃん」呼ばれて
　振りむくひ孫に
　うれしはずかし　我年想う

十月町内各種団体行事予定

◆小学校（幼）
▼稲刈り――三日
▼城山登り（幼）――六日
▼集金日――七日
▼貯金日――八日
▼体重測定・諸費集金（幼）――八日
▼社会見学――九日
▼体重測定・視力検査（低）――二三日
▼体重測定・視力検査（高）――二三日
▼人権参観日――二〇日
▼陸上記録会――三〇日

◆子ども会
▼三原創作大会――未定

◆町内会
▼市民体育大会参加――一〇日
▼敬老会――一八日
▼親睦旅行（中）――二四日

◆尚寿会
▼親睦会（竹原市）――一日
▼ゲートボール大会――六日
▼老連スポーツ大会――二三日

◆女性会
▼親睦会　上＝八日　中＝二日　下＝二日
▼役員会――四日
▼JA三原助け合い等委会――八日

市民体育大会の案内

市民体育大会が十月十日、市民グラウンドで例年通り行なわれます。

今年は市営バスで送迎します。下組バス停を午前七時四〇分に出発します。ご利用下さい。

展望席

九月一二日の全国紙に、「対論」『経済再生、軟着陸は可能か』というテーマで、野村総合研究所顧問、水口弘一氏が「――国際協調をとりながら、それぞれの国がきちっとした原則をもって経済を立て直すときです――。」▼水口氏の現職は、経済同友会の副幹事。その面構えもホレボレするほど迫力がある。が、おっしゃることにそれほど説得力が感じられぬのは何故か。「きちっとした『原則』」とは一体なんなのか。日頃私たちも原点に立って、原則に従って、の表現をよく使う。これは物事を判断する上での基本である。水口氏の発言を聞いて私が：？と思ったのは。▼自分が副社長まで勤め上げた野村証券の犯罪行為を、どう理解していられるのだうか、ということです。総会屋への利益供与が、経営原則に忠実であった結果なのたろうか：？と、この度の「対論」を読んで感じました。▼原則を守ってとはこうなんだ。と、具体的に示してほしい。証券最大手野村の社長で、刑事責任を追求された酒巻氏の九七年の推定年収は、六〇七四万円。この額は原則をきちっと守った結果報酬額なのか。

修学旅行の思い出（3）

綱掛　茜

今日、修学旅行だったのでとても楽しみにしていました。バス停に行って少しすると、美穂ちゃんが来て、荷物をつみました。新幹線に乗って少しして「ウノ」をしました。男子が最後まで残って、接戦したのがとても楽しかったです。

大阪に着くと、バスに乗って海遊館に向かいました。まどから外を見ていると、いつもとはちがって、ずっと眺めていてあきませんでした。

海遊館に着いてすぐ昼食になりました。みんなで海を見ながらたべたお弁当は、とてもおいしかったです。

中に入ると、見たことのない魚やペンギン、アザラシやラッコなどもたくさんいました。特に、ジンベイザメは、前より大きく見えました。他にもいろいろな魚や動物がたくさんいました。

次に、法隆寺に行きました。私は、五重の塔の説明を聞いて、たくさんの意味があることにおどろきました。木造建築の中で一番古いのに、こんなに大きくしっかりしているのですごいなと思いました。

その次に、東大寺に行きました。遠くから見てもすごく大きいのに、実際の大きさはもっと大きかったのでおどろきました。大仏は想像以上でした。横から見ると、それ以上に大きく見えました。鼻の穴と同じ大きさの穴を通りぬける時、あちこちを打ってとても痛かったです。今日一日、私達にたくさんの説明やお話をしてくれたガイドさんとわかれました。

私は、運転手さんやガイドさんのおかげで、今日一日楽しく過ごせたのだと思います。

旅館で夕食を食べ、外に出た後、部屋でカードゲームなどをして遊びました。おふろの中で、女子三人でさわいだりしてとても楽しかったです。ねる前、いろいろな話をしてねました。明日もがんばって見学しようと思いました。

十五日は、先生が起こしてくれ、「千紗ちゃんすごいねかたしとったよ」。笑いながら先生は言っていました。でも、私は全然分かりませんでした。でも先生が写した写真が早く見たいです。

そして、用意をして、まずは清水寺に行きました。清水のぶ台は、すごく高くて目がくらむかと思いました。こんな高いものを、どんなふうに造ったか不思議でした。

次に行ったのは二条城で、うぐいすばりのろう下は、貝か何かで仕かけしてあって、「こんなのよく考えて作れたよなぁ」。と思って感心しました。それに、戸には金箔がはってあって、力を持っていない人とでは全く違うとおもいました。

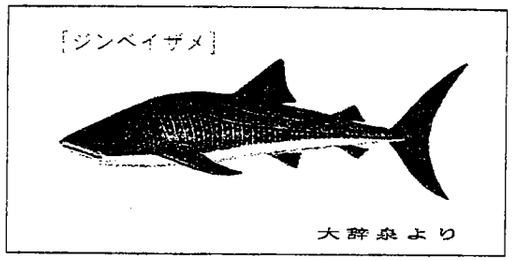
次は、金閣寺に行きました。パンフレットより実物の方が光って見えました。私は、金箔を貼り代える前は、どのくらい光っていただろうと思いました。

そして、最後に映画村で昔はこんな所だったんだろうなと思いながら見学しました。でも、あんなに砂ぼこりがすごかったから、少しカメラでも写しにくいかもなと思いました。

いろいろ見学して、気をつける事は、「行動は、すべて班で行なう」がクラスみんなだったけど、全員集まって見学することが出来てよかったです。

それに、思っていたよりすごい物で中にはあんなものまで……。と思うほどの物がありました。今回、本で調べたりするより本物の方が感じが「うわあ……」。と、思うくらいすごい物があってよかったです。

また、今度行きたいです。▲▲



次の日「朝だよ」と起こされても、すごくねむたくて二度ねてしまいそうでした。朝食を食べてすぐバスで清水寺に向かいました。

清水寺に着くころには、もうバテていました。清水の舞台から下を見下ろしてもすごく高く感じたけど、下から見るとそれ以上に見えました。私は、木をあんんに高く組むのは、すごい作業だったんだろうとなと思いました。

次に二条城に行きました。私は、想像以上に大きいのに驚きました。中へ入ると、うぐいすばりのろう下や、人形がありました。自分で想像していると、とてもたのしかったです。

その次に、金閣寺に行きました。私は、すごい金におどろきました。金を貼り代える前の金閣寺が見てみたいです。

最後に、東映映画村に行きました。屋根うらのセットなど今にも何か出てきそうでした。いろんな所を見ているうちに、すぐ時間が来てしまいました。

帰りの新幹線では、ビデオを撮ったり、写真を写したりして楽しかったです。

私は、修学旅行の中で人との出会いの大切さや、歴史の楽しさなどたくさんのことを学ぶ事ができました。それと、みんなで楽しく過ごせてよかったと思いました。▲▲

安心できる農地貸借について

「人手がないので農業ができない。もう少し耕地を拡げたいのだがその耕地がない。」

「小作に出したら必要なとき返してもらへられないので無理をして自分で耕す。反対に借りた人は、いつ返還要求があるか分からないので安心して耕作できない」。

こんな悩みを日常よく耳にします。特に若い人が市街で働いている家庭に多いようです。

「農地銀行」をご存知ですか

この悩みを解消するためにできたのが「農地銀行」です。農地の貸し借りを希望される方は、定められた用紙に所定事項を記入のうえ、農業委員会（市役所四回）に提出して下さい。

詳しいことが知りたい方は、農業委員会事務局、又は、深町出身農業委員　秋広澄夫氏にお尋ね下さい。電話番号は次の通りです。

農業委員会事務局
☎六四－六一四四

農業委員　秋広澄夫
☎六三－四四八五

絵　船本　輝明

敬老会

今年の敬老会行事は、十月十八日（日）に深小学校屋内体育館出で、午前十時から町内会連合会主催で行ないます。

式典に続いて、昼食をとりながら、小学校六年の児童のみなさんの歌や、女性会・町民のみなさんの歌や踊りの数々を観ていただきます。

敬老会員の方も、飛び入りで隠し芸披露のチャンスも組んでいます。

近々みなさんの宅に、町内会役員が出席していただけるかどうかの確認にお伺いします。歩くことが不自由な方は送迎致します。役員が参りましたら、送迎の必要な方は遠慮なく申し出下さい。▲▲

修学旅行の思い出（4）

中嶋　千紗

一泊二日で修学旅行に行きました。

まず、「こだま」に乗って新大阪に行きました。新大阪に着くまで、私と篤君と茜ちゃんと、美穂ちゃんと雄君と「ウノ」をしました。私は二回「ウノ！」と言うのを忘れて、早く上がれるはずが、上がれなくてくやしかったです。だけど、一応早く上がれてよかったです。

新大阪に着くと、バスに乗って海遊館に行きました。中に入ると、イルカや、イグアナ、ウミガメ、ノコギリエイがいました。でも一番すごかったのはジンベイザメでした。どこがすごいかは、体も大きいし、口もすごく大きく、とにかく大きかったです。それに、そのジンベイザメと写真が撮れたので、とてもうれしかったです。

それからまたしばらくバスに乗って、ガイドさんの話を聞きながら、法隆寺に行きました。

玉虫の羽で出来たおしゃか様が描いてある「玉虫ず子」を見ました。今は、少ししか見えなかったけど、昔はもっとキラキラしてきれいだったんだろうなと思いました。

その中の一枚はすごい絵でした。それは、とらの母親がおなかをすかせて、自分の子供を食べようとしたので、おしゃか様は自ら自分の体をとらにあげてすごいとおもいました。

次に東大寺に生きました。大仏を見た時「うわぁ、思ったより大きかったなぁ」。と思ってびっくりしました。

大仏の鼻の穴は、初め「こんなところを通れるはずないじゃん」。と、思ったけど通れてよかったです。帰る時は目が少ししょぼしょぼしてねむたかったです。

帰って荷のかたずけや、女子三人でお風呂に入って、泳いだりしてねました。明日もがんばって見学しようと思いました。

十五日は、先生が起こしてくれ、「千紗ちゃんすごいねかたしとったよ」。笑いながら先生は言っていました。でも、私は全然分かりませんでした。でも先生が写した写真が早く見たいです。

そして、用意をして、まずは清水寺に行きました。清水のぶ台は、すごく高くて目がくらむかと思いました。こんな高いものを、どんなふうに造ったか不思議でした。

次に行ったのは二条城で、うぐいすばりのろう下は、貝か何かで仕かけしてあって、「こんなのよく考えて作れたよなぁ」。と思って感心しました。それに、戸には金箔がはってあって、力を持っていない人とでは全く違うとおもいました。

次は、金閣寺に行きました。パンフレットより実物の方が光って見えました。私は、金箔を貼り代える前は、どのくらい光っていただろうと思いました。

そして、最後に映画村で昔はこんな所だったんだろうなと思いながら見学しました。でも、あんなに砂ぼこりがすごかったから、少しカメラでも写しにくいかもなと思いました。

いろいろ見学して、気をつける事は、「行動は、すべて班で行なう」がクラスみんなだったけど、全員集まって見学することが出来てよかったです。

それに、思っていたよりすごい物で中にはあんなものまで……。と思うほどの物がありました。今回、本で調べたりするより本物の方が感じが「うわあ……」。と、思うくらいすごい物があってよかったです。

また、今度行きたいです。▲▲